回覧										

２０１４年９月１日　発行　　久玉地区振興会新聞

久玉ふるさと夏祭り

地域を挙げて！

久振だより
人口３２２４人
１５４３世帯
―第７６号―
発行
久玉地区振興会
発行日
平成２６年９月１日

夏祭当日は夜半から激しい雨、しかも天気予報では一日中傘マークが。急遽、会場をふれあいセンターに変更して講堂に櫓（やぐら）を作り開催することになった。

振興会では「地域を挙げて」が実感できるまちづくりを目指していて、夏祭りへの思いも町民と帰省客にどうしたら喜んでもらえるのか、地域の活性化を願い開催している。

午後６時、江良会長挨拶、中村市長、西岡県議にも来賓のご挨拶を頂き、オープニングはお菓子投げ。大人たちは笑顔で投げているが、子供たちの目は真剣そのもの、我先にとお菓子を拾っていた。

そうめん流しは二本の竹筒に端から端まで子供たちでびっしり。昨年に続き大盛況、子供たちはそうめん流しが大好きなようだ。

新競技のコーラ早飲み競争、これも子供たちが主役、大人たちが応援する前で、時折ゴホゴホと涙目になりながらも必死で挑戦していた。恒例の商品券が当たる抽選会では、次々に商品券を持って、嬉しそうに外の露店に走る子供たちでいっぱい。

キーボード演奏は、江良みどりさんのオリジナル曲「マイプレイス」、最後の「ふるさと」では全員の合唱になった。

そして、カラオケ大会には

コーラ早飲み競争、冷たくて最高！

久玉町敬老会のお知らせ

日時　９月１４日（日）

久　玉	午前 10 時	久玉ふれあいセンター
山の浦	午前 10 時	山の浦生活改善センター
内の原	午前 11 時	やすらぎ荘

※75 歳以上の 721 名の皆様、おめでとうございます！

☆しろやま文庫☆
「パフェ作り」

８月３日（日）、みんなが楽しみにしている夏休み恒例「パフェ作り」がありました。

絵本を２冊聞いてから、班に分かれて「理想的なパフェ」の作り方の説明をききました。

材料はコーンフレーク　アイスクリーム・缶詰のみかんや桜桃・バナナ・生クリーム・サクランボです。これをコップに順番に入れていき、最後に「コアラのマーチ」や「ポッキー」でデコレーションしてできあがりです。

簡単ですが、しかし・・・時間との競争。なにしろすぐに溶けていきますから。きゃーきゃー大騒ぎしながらも、集中して作り、みんなでいただきまーす。

お兄ちゃんについてきた弟くん。デコレーションする間もなく、サッサと食べ始め、コツコツと食べ続け、お母さんのも食べてた（？）なかなかの強者でした。

また来年も来てね。

毎年、アイスや生クリームを詰め込みすぎて、気持ち悪くなるほど食べてしまう子どもがいるのですが、今年は大丈夫だったかな？

材料費の心配がなくなったので、今年は「かわいいパフェにぴったりのスプーン」を買うことができました。

来年はかわいいカップ買えるかな？

※材料費は、地域の子ども達の健全育成を願い、久玉地区振興会が負担しています。

第６回くたま市民学級のおしらせ

市消費生活センター

『悪質商法、詐欺にご用心！』

平成26年９月18日（木）午前10時～

フォークダンス講座のおしらせ

※　全く初めての方の講座です。

平成26年９月９日（火）午後７時～

※どなたでも、参加できます。

移動図書館車がやってくる

平成26年９月12日（金）

午前10時30分～11時00分

ところ　いずれも久玉ふれあいセンター

編　集　後　記

・帰省客が増え、賑やかだったお盆も終わり、またいつもの生活に戻りました。静かになり寂しくも有りますが、夏ばてに注意して残暑を乗り切りましょう！　（る）

・今月 15 日（月）は敬老の日。久玉地区に、100 歳以上の方は 6 名程いらっしゃるようだ。44 年後に 100 歳を迎える私。神様、6 年後の東京オリンピックまでは、なんとか・・・お願いします。　（ふ）

10名が出演。この日に向けて練習を重ねてきたのだろう。衣装もきまって、唄う姿には自信が溢れていた。

フィナーレは城山音頭の総踊り、上手な人ばかりではないがこれが盆踊り。見る人のためではなく踊る人が楽しめばいい。帰りは、上揚活性化グループ（代表　江良安雄）により玄関に飾られた竹灯篭が、やさしく見送ってくれた。

区長さん方をはじめとする多くの皆様のふるさと久玉に対する思い、そして強い結束力を改めて感じました。

フィナーレは久玉城山音頭による総踊り！

写真で「夏祭り」を紹介します。

約 330 名が参加。当たり？はずれ？　抽選会

華麗な？あかね苑の「雪の女王！」

幻想的な竹灯籠でお見送り

ソーメン入れすぎかな？

江良みどりさん、熱唱！

行列の出来る露店！　大繁盛

カラオケのラストを飾るコーラス

こんな支え（裏方）があればこそ！

第５回くたま市民学級

天附島の砂月浜の物語

雲の船に乗ってやって来た昔話の配達人（嶽本秀子さん）。平和を愛するその人の名は、「平　和子」。（たいらわこ）

砂月の民話で、「おみよ」という女性が主人公の物語を、一人語り（一人芝居）という独特のスタイルで演じて下さった。その奥にあるテーマは「愛」。

おそらく、今回１回だけの講演なのに、私達のために多くの時間とエネルギーを費やして熱く演じて下さった。

最後に、山下陽一先生の詩集「河童曼陀羅」から一遍の詩を朗読していただき幕を閉じた。

◆参加者の皆様の感想です。

・愛のお話、絶対死ぬまで忘れません。まるで、母の話の様でした。

・話し方、間の取り方、絶妙で、さすが経験豊かな先生だと思いました。

・結婚50年を過ぎたが、家内と食事のあとに「愛」があるから毎日が楽しく生きられる、と語り合っています。

・昔話は時代を語る、と改めて感じた。私達も「昔話」を次ぎに繋いで行かなければ。

・相手を思いやり、愛する気持ちが夫婦の絆を深めるのでは、と一人になってしまった今、反省することばかりです。

参加された皆様には、それぞれの「愛」を感じていただいたようです。

ダンボール箱で燻製作りに挑戦！

久玉小カルチャーサークル（顧問　大久保先生）７名が８月25日（月）、校舎横でダンボール薫製作りに挑戦した。段ボールにカッターで小窓を作り、ガムテープで取っ手を付け、隙間をガムテープでふさぎ、約10分で完成。ベーコン・鶏の手羽元・チーズなどを、サクラのチップで約１時間燻（いぶ）した。

薄茶色に染まったチーズは、普段の味とはひと味違い、深い香りに子ども達もびっくり。ちょっぴり、大人の味を味わった。

薫製ができる時間を利用して、マイ箸づくりにも挑戦した。菜箸を作って、親にプレゼントをしようという企画で、孟宗竹の節を利用したマイコップと、普段自分で使うマイ箸との三点セットを作った。

小刀は膝の上で固定し、削る竹の方を動かすという基本の使い方もマスターし、終わり頃にはだいぶ上手になっていた。

この事業は、親子で参加するＰＴＡ行事や子ども会の行事などに活用できます。企画される場合は、振興会でお手伝いしますので、どうぞ遠慮なくご相談下さい。

材　料　段ボール箱・網・ガムテープ・チップ
費　用　約350円
箱の作製時間　約10～15分